

企業・NPO・大学パートナーシップ支援事業「スタディツアー」実施結果

【日時】

実施日 令和5年2月9日（木） 13:00～16:00

【参加者】

26名（NPO等市民活動団体16名、企業9名、個人1名）

【テーマ】

複雑化する社会課題を「協働」により解決するために

【プログラム／訪問場所・団体】

3つの協働プロジェクトの企業・非営利団体をオンラインで訪問し、先進的な協働の事例について各プロジェクトの発表と質疑応答で理解を深め、参加者各自がワークシートを用いて訪問先での学びを記録・整理し、「訪問先の何が心に残ったか」「持ち帰りたいこと、これから活かしたいこと」を共有しながら対話を行うグループワークを通して、課題の解決のために自分／自組織がどのように考え行動すべきかイメージできるようになることを目標に実施しました。

（配信会場：市民セクターよこはま事務所（ICHIMATSU スクエア））

<オンライン訪問先>

IT分野の協働事例：支援の輪を広げるためのIT活用、民間企業からのヒント

・株式会社アイルミッション × 株式会社ネクストウェル

社会課題解決のために日々取り組んでいる市民団体のITにおける課題に対して、企業2社と市民協働推進センターが協働で、市民団体向けに「IT活用セミナー」を実施。事務効率化により広報に力を入れる余裕をつくる適切なツールの導入や、日常的な活動をちゃんと社会にアピールするプロモーションについてのヒントなど、IT企業の強みを活かした協働事例。

防災分野の協働事例：広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築

・災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ

神奈川県が大災害の被災地になったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期にわたり支える仕組みをつくることを目的に活動実施。横浜市域における、民間支援ネットワークの構築、災害支援活動に関心を持っているNPO等の連携強化に力を入れた協働事例。

こども分野の協働事例：呼吸器や医療的ケアがあるこどもたちがハッシン（発信、発進）

・ こどもハッシン！－呼吸器生活向上 Project－ 横浜市立東俣野特別支援学校 PTA
(NPO 法人街カフェ大倉山ミエル×NPO 法人レスパイト・ケアサービス萌×横浜市立東俣野特別支援学校 PTA 呼吸器生活向上委員会)

呼吸器や医療的ケアがあるこどもたちが主体となって活動（発進）するプロジェクト。多様な個性を持つこどもたちがそれぞれの方法で「想い、願い、アイデア、疑問、意見」を伝えて（発信）いく、そのハッシンを受け止めたおとなたちと多様な分野の方々との協働事例。

【参加者アンケートより（抜粋）】

・ なかなか忙しい中、3時間という時間を取ることは難しいが、オフィス（もしくは自宅）からだと参加がしやすかった。一方、対面ではないので、協働につながる交流という点では難しい部分があった。一長一短です。

・ Zoom は、全体、みなさんの顔も見え、場の雰囲気なども良かったです。個々での会話時間配分などはリアルより難しく感じます。

・ オンラインだからこそ、参加出来ました。運営の方の方も訪問先の方も、資料が丁寧に作ってあり、発表の内容も分かりやすかったです。

・ IT2 社の発表が参考になりました。つまり今後、新たな活動(事業)を広く地域社会に知らしめていく方法について、ヒントが得られました。(中略)「点を1つずつ増やしていくことが大切で、幾つかの点を発信し続けていけばやがて面になる…」と言った発表者のお言葉は、納得とともに勇気づけられました。

・ グループディスカッションでもお伝えしたが、クラウドファンディングによる仲間集めという視点は新しい気づきになった。

・ ツアーでの気づき、実践したいこと、心に残った言葉：

1) (株) アイルミッション × (株) ネクストウェル：「異文化」、「協力者を増やしていく」、「バズワード」

2) 災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ：「一緒にやる人へのリスペクト」、「褒めちぎる」

3) こどもハッシン！－呼吸器生活向上 Project－：「巻き込み力」、「明るさ」

(「満足」 + 「やや満足」 100%)

【プログラム】

オリエンテーション

参加者全体で自己紹介を行った後、プログラムの概要の説明を行いました。

企業・非営利団体訪問（オンライン訪問）・質疑応答

3つの協働プロジェクト実施企業・非営利団体へ全員でオンライン上での訪問を行いました。各企業・非営利団体への訪問後は質疑応答で理解を深める時間を設けました。

グループワーク


オンラインでの訪問を終えたあと、事前に配布していたワークシート「オンライン訪問 memo」に沿って、参加者と各訪問先の発表者も加わってグループワークを行いました。

オンライン訪問memoの使い方

- スタディーツアー共通の2つの訪問ポイントでメモが取れるシートです。
この2つのポイントを念頭に訪問ください。
- 事例発表を聞きながら、メモとしてご自由にご活用ください。
- グループワーク時には、このシートを元に各グループで情報共有、ディスカッションしてください。



▲オンライン訪問 memo とその説明

Study Tour グループワークのポイント 

- ①最初に自己紹介（1人 30秒）
団体名・名前・誕生日
- ②次に発表者とタイムキーパーを選出
発表者はグループワークの中で一番印象に残ったことを全体共有時に発表
- ③各自の訪問先の感想を共有しながらディスカッション
 1. 訪問先の何が心に残ったか
 2. 持ち帰りたいこと、これから活かしたいこと

▲グループワークのポイントとその説明

発表タイム

参加者および各訪問先の発表者全員が集まり、グループで選出した発表者によって各グループで対話を通じて共有された訪問先の感想「訪問先の何が心に残ったか」「持ち帰りたいこと、これから活かしたいこと」に関して、全体にシェアされました。

